

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-041199

(43)Date of publication of application : 08.02.2002

(51)Int.Cl.

G06F 3/00
G06F 9/445
G06F 15/00
G06K 7/00

(21)Application number : 2000-364798

(71)Applicant : PASUKARU:KK

(22)Date of filing : 30.11.2000

(72)Inventor : MATSUNAGA SHIGEMI

(30)Priority

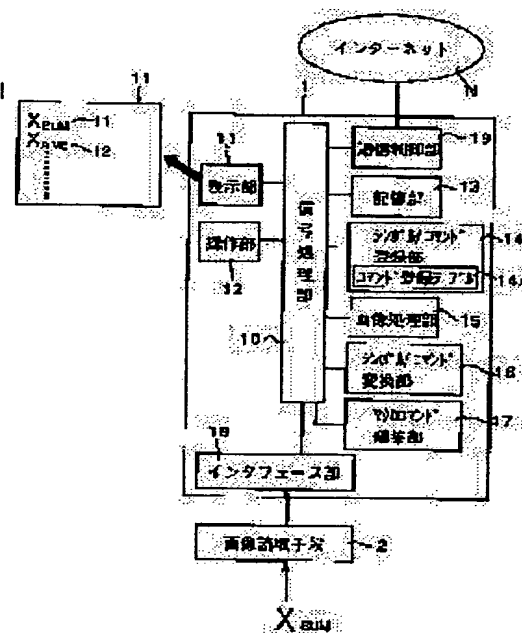
Priority number : 2000142033 Priority date : 15.05.2000 Priority country : JP

(54) OPERATION PROCESSING METHOD FOR COMPUTER DEVICE USING SHORTCUT SYMBOL, AND SHORTCUT PROCESSING SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an operation processing method of a computer using a shortcut symbol for executing processing for allowing a computer to execute a prescribed job only by operating and reading a symbol displayed on a display screen by a scanner or an electronic camera.

SOLUTION: A series of macro-commands formed in program language processable by a computer device 1 and symbols I1 and I2 to be displayed with pictures or graphics on a display screen 11 are registered so as to be made correspond to each other in a computer device 1. In the computer device 1, when the symbols I1 and I2 displayed on a page space or the display screen 11 are read by a picture reading means 2 such as a scanner or an electronic camera, the symbols I1 and I2 are identified, and the macro-commands registered so as to be made correspond to the symbols I1 and I2 are decoded and executed.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

BEST AVAILABLE COPY

This Page Blank (uspt)

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-41199

(P2002-41199A)

(43) 公開日 平成14年2月8日 (2002.2.8)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テームコード*(参考)
G 0 6 F 3/00	6 5 4	G 0 6 F 3/00	6 5 4 A 5 B 0 7 2
9/445		15/00	3 1 0 Q 5 B 0 7 6
15/00	3 1 0	G 0 6 K 7/00	U 5 B 0 8 5
G 0 6 K 7/00		G 0 6 F 9/06	6 5 0 A 5 E 5 0 1

審査請求 未請求 請求項の数10 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願2000-364798(P2000-364798)

(22) 出願日 平成12年11月30日 (2000. 11. 30)

(31) 優先権主張番号 特願2000-142033(P2000-142033)

(32) 優先日 平成12年5月15日 (2000. 5. 15)

(33) 優先権主張国 日本 (J P)

(71) 出願人 593132043

株式会社バスカル

奈良県吉野郡天川村大字南日裏248番地

(72) 発明者 松永 滋美

奈良県吉野郡天川村大字南日裏248番地

株式会社バスカル内

(74) 代理人 100087664

弁理士 中井 宏行

Fターム(参考) 5B072 BB00 CC01 CC21

5B076 AA17 AB17

5B085 CC04 CC16 CE06

5E501 AC37 BA05 CA03 CB13 CB14

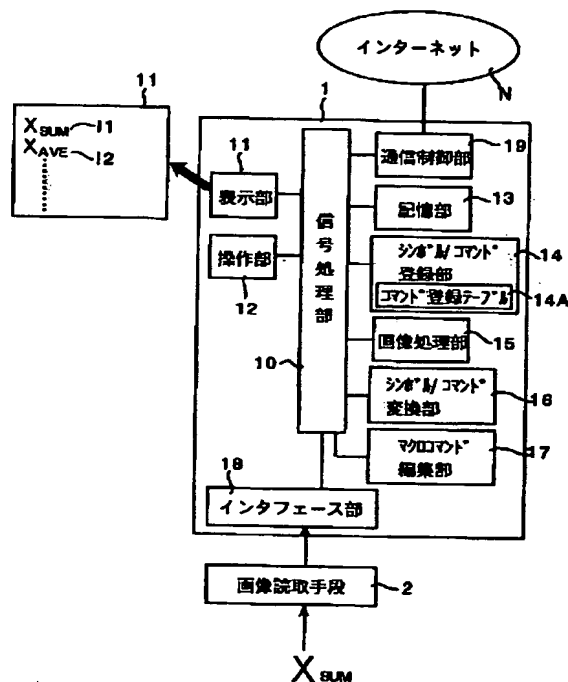
EA02 FA14 FA45

(54) 【発明の名称】 ショートカットシンボルを用いたコンピュータ装置の操作処理方法、ショートカット処理システム

(57) 【要約】

【課題】 スキャナや電子カメラで表示画面上に表示されたシンボルを操作して読み取るだけで、コンピュータが所定のジョブを実行できる処理を実行するショートカットシンボルを用いたコンピュータの操作処理方法を提供する。

【解決手段】 コンピュータ装置1で処理可能なプログラム言語で形成された一連のマクロコマンドと、表示画面11上で絵や図形などで表示されるシンボルI 1, I 2とを対応させてコンピュータ装置1に登録させ、コンピュータ装置1では、スキャナや電子カメラなどの画像読取手段2によって、紙面や、表示画面11に表示されたシンボルI 1, I 2を読み取ったときには、そのシンボルI 1, I 2を識別して、そのシンボルI 1, I 2に対応して登録したマクロコマンドを解釈して実行する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】コンピュータ装置で処理可能な言語で形成された一連のマクロコマンドと、表示画面上で絵や図形などで表示されるシンボルとを対応させて上記コンピュータ装置に登録させ、

上記コンピュータ装置では、上記表示画面上に表示されたシンボルを、スキャナや電子カメラなどの画像読取手段によって、読み取ったときには、そのシンボルを識別して、そのシンボルに対応して登録したマクロコマンドを解読して、所定のジョブを実行するようにしたショートカットシンボルを用いたことを特徴とする、コンピュータ装置の操作処理方法。

【請求項 2】請求項 1 において、

上記表示画面上に表示されたシンボルを、上記画像読取手段で特定の操作をすれば、それに対応して登録したマクロコマンドなどの情報を上記表示画面上で開いて、編集可能にしていることを特徴とする、コンピュータ装置の操作処理方法。

【請求項 3】請求項 1 または請求項 2 において、

上記シンボルに対応してマクロコマンド登録テーブルに登録されるマクロコマンドは、特定のサービスサーバの通信アドレスを少なくとも含んでおり、

上記表示画面に表示されたシンボルを、上記画像読取手段を使用して上記コンピュータ装置に読み取り、その通信アドレスをコンピュータ装置側で通信ブラウザソフトにハンドリングさせて、特定のサービスサーバをアクセスするようにしたことを特徴とする、コンピュータ装置の操作処理方法。

【請求項 4】請求項 1～請求項 3 のいずれかにおいて、上記コンピュータ装置に登録されるシンボルは、1 次元バーコード、2 次元コード、多次元コードなどのシンボルイメージであることを特徴とする、コンピュータ装置の操作処理方法。

【請求項 5】請求項 4 において、

上記 2 次元コードは、2 次元読取領域を特定するためのエリアマーキングと、このエリアマーキングによって特定された上記 2 次元読取領域における 2 次座標位置を指定する座標スケールとによって定義された情報表示面に、絵や文字などのシンボルを記したことを特徴とする、コンピュータ装置の操作処理方法。

【請求項 6】請求項 5 において、

上記 2 次元読取領域には、更にその終点を特定するエンドマーキングを設けていることを特徴とする、コンピュータの操作処理方法。

【請求項 7】画像データを読み取るためのスキャナや電子カメラなどの画像読取手段と、

紙面上、あるいは表示画面上に表示されたシンボルをマクロコマンドに対応させて登録するシンボル／コマンド登録テーブルを含んだシンボル登録手段と、

上記画像読取手段でシンボルを読み取ったときには、O

S に対して割り込みを行い、読み取ったシンボルの画情報から画像上の特徴を抽出する画像処理手段と、

特定のジョブを実行するため、上記画像処理手段で読み取ったシンボルから、その特徴を抽出して、上記シンボル／コマンド登録テーブルを参照して、そのシンボルに対応して登録したマクロコマンドを解読するためのシンボル／コマンド変換手段とを備えるコンピュータ装置とで構成され、

上記画像読取手段が上記シンボルを読み取ったときには、そのシンボルに対応して、予め登録手段に登録されたマクロコマンドによって特定される特定のジョブを実行するようにした、ショートカット処理システム。

【請求項 8】請求項 7 において、

上記コンピュータ装置は、特定の操作をしたときには、上記シンボル／コマンド登録テーブルに登録されたマクロコマンドを、表示画面上に表示して、表示されたマクロコマンドを編集する手段を備えたことを特徴とする、ショートカット処理システム。

【請求項 9】請求項 7 または請求項 8 において、

上記画像読取手段と上記コンピュータ装置とはワイヤレス接続されているショートカット処理システム。

【請求項 10】請求項 7～9 のいずれかにおいて、

上記画像読取手段は、読み取った画像データを、静止画データあるいは動画データとして保存できる機能を有することを特徴とする、ショートカット処理システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、表示画面上に表示されたシンボルを、画像読取手段を操作して読み取るだけで、コンピュータ装置に登録したが所定のジョブの少なくとも一部の動作を実行するようにしたショートカットシンボルを用いたコンピュータ装置の操作処理方法、及びこの方法を実現するショートカット処理システムに関する。

【0002】

【従来の技術】近時、オフィスや家庭などにおいて、コンピュータ装置が広く普及しており、コンピュータ装置に予め登録されたアプリケーションを用いて、文書入力や表計算、インターネット接続などの作業を効率的に行えるようにしている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところで、従来では、複数の関連したジョブを実行するため、階層構造になった複数の入力操作画面が用意されているようなアプリケーション、例えば、表計算ソフトウェアを利用して表計算作業をする際に、所定の関数式を用いてセルの数値を集計するときには、上の階層から下の階層を順次開いていって、目的の処理を実行させる必要がある。この操作がユーザーにとって煩わしいばかりか、不慣れなユーザーにとっては困難であるといった問題があり、本発明

は、上記問題を解決すべく、画像読取手段を用いて表示画面に表示されたシンボルを操作して読み取れば、コンピュータが所定のジョブを実行するショートカットシンボルを用いたコンピュータの操作処理方法、及びこの方法を実現するショートカット処理システムを提供することを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、本発明の請求項1に記載のコンピュータ装置の操作処理方法では、コンピュータ装置で処理可能な言語で形成された一連のマクロコマンドと、表示画面上で絵や図形などで表示されるシンボルとを対応させて予めコンピュータ装置に登録させ、コンピュータ装置では、スキャナや電子カメラによって、表示画面に表示されたシンボルを読み取ったときには、そのシンボルを識別して、そのシンボルに対応して予め登録しているマクロコマンドを解釈して、所定のジョブを実行するようにしている。ここに、表示画面としては、CRTモニターや液晶モニターなどの他、より解像度の高いプラズマディスプレイを用いれば望ましい。

【0005】請求項2に記載のコンピュータ装置の操作処理方法では、表示画面上に表示されたシンボルを、画像読取手段にタッチさせたり、画像読取手段の操作ボタンを押したり、マウス、キーボードを操作するなどして特定の操作をすれば、それに対応して登録したマクロコマンドなどの情報を表示画面上で開いて、編集可能にしている。

【0006】請求項3に記載のコンピュータ装置の操作処理方法では、シンボルに対応してマクロコマンド登録テーブルに登録されるマクロコマンドは、特定のサービスサーバの通信アドレスを少なくとも含んでおり、表示画面に表示されたシンボルを、スキャナや電子カメラを使用してコンピュータ装置に読み取ったときには、その通信アドレスをコンピュータ装置側で通信ブラウザソフトにハンドリングさせて、特定のホームページにリンクさせるようにしている。この場合、シンボルに特定の情報を含ませることによって、スキャナや電子カメラで読み取るだけで通信ブラウザを自動的に起動させ、ピンポイントでアクセスすることも可能である。

【0007】請求項4に記載のコンピュータ装置の操作処理方法では、コンピュータ装置に登録されるシンボルは、JANなどの1次元バーコード、2次元コード、多次元コードなどで構成される。

【0008】請求項5に記載のコンピュータ装置の操作処理方法では、2次元コードは、2次元読取領域を特定するためのエリアマーキングと、このエリアマーキングによって特定された2次元読取領域における2次座標位置を指定する座標スケールとによって定義された情報表示面に、絵や文字などのシンボルを記し、シンボルの読み取り時におけるエラーを軽減している。

【0009】請求項6に記載のコンピュータ装置の操作処理方法では、2次元読取領域には、更にその終点を特定するエンドマーキングを設けている。

【0010】請求項7に記載のショートカット処理システムでは、画像データを読み取る画像読取手段と、シンボルとマクロコマンドとを対応させて登録するシンボル／コマンド登録テーブルを含んだシンボル登録手段と、画像読取手段でシンボルを読み取ったときには、コンピュータ装置で稼動しているOSに対して割り込みを行い、読み取ったシンボルの画情報から画像上の特徴を抽出する画像処理手段と、特定のジョブを実行するため、画像処理手段で抽出した画像上の特徴から、シンボル／コマンド登録テーブルを参照して、そのシンボルに対応して登録したマクロコマンドを読み出し、解釈するするためのシンボル／コマンド変換手段とを備えるコンピュータ装置とで構成されている。

【0011】請求項8に記載のショートカット処理システムでは、コンピュータ装置は、画像読取手段で特定の操作をしたときには、シンボル／コマンド登録テーブルに登録されたマクロコマンドを、表示画面上に表示して、表示されたマクロコマンドを編集する手段を備えている。

【0012】ここに、請求項7、8では、全ての構成手段を1つのファイルに包含していてもよく、こうすれば、コマンド規格の統一された他のコンピュータ装置に対しても、容易にデータ転送することができ、例えば1つの事業所において、複数のコンピュータ装置で、本発明の方法を実施できるようになる。

【0013】請求項9に記載のショートカット処理システムでは、画像読取手段は、読み取った画像データをコンピュータ装置にワイヤレスで送出し、コンピュータは、画像読取手段より微弱電波や赤外線などの信号媒体を使用してワイヤレスで送出された画像データを受信する構成としている。

【0014】請求項10に記載のショートカット処理システムでは、画像読取手段は、読み取った画像データを、静止画データあるいは動画データとして保存できる機能を有する。

【0015】

【発明の実施の形態】以下に、本発明の実施の形態について、図面とともに説明する。図1は、本発明の方法を実現するために提案されるショートカット処理システムの要部構成の一例を示す図である。

【0016】このシステムは、所定のOSで駆動されるコンピュータ装置1と、スキャナや電子カメラなどの画像読取手段2とで構成され、コンピュータ装置1は、CPUなどで構成され、以下の各部を制御する信号処理部10と、CRT装置や液晶装置、プラズマディスプレイ装置などの表示画面を備える表示部11と、キーボードやマウスなどで構成される操作部12と、このコンピュ

ータ装置1が動作するのに必要な各種プログラムや、辞書検索ソフト、インターネットブラウザ、メーラーソフト、表計算ソフトなどの各種アプリケーションなどを予め記憶した記憶部13と、シンボル/コマンド登録テーブル14Aを有するシンボル/コマンド登録部14と、画像処理部15と、シンボル/コマンド変換部16と、マクロコマンド編集部17と、USB規格に準拠したインターフェース部18と、インターネットNを介して、他のコンピュータ装置やサーバなどとの通信を制御する通信制御部19とを備える。なお、インターフェース部18は、RS-232C規格などに準拠したインターフェースであってもよい。なお、シンボル/コマンド登録部14はシンボル/コマンド登録手段を、画像処理部15は画像処理手段を、シンボル/コマンド変換部16はシンボル/コマンド変換手段を、マクロコマンド編集部17はマクロコマンド編集手段をそれぞれ示しており、これらの機能については後述することにする。

【0017】一方の画像読取手段2は、ここでは、デジタルカメラで構成されており、読み取った画像データを、静止画データあるいは動画データとして保存できる機能を備えている。この画像読取手段2は、高速処理のCPUを備えており等で構成され、以下の各部を制御する信号処理部20と、CCDなどで構成される画像読取部21と、画像読取部21で読み取った画像を、カラー画像データに変換する画像処理部22（白黒処理に対応したものでできるものであってもよい）と、読取指令ボタン23と、LEDなどで構成される動作ランプ24と、コンピュータ装置1との間で、画像データをUSB規格に準拠して伝送するインターフェース部25と、メモリスティックなどで構成され、読み取った画像データを記憶する記憶部26とを備える。

【0018】このマクロコマンド登録テーブル14Aは、図3に示すような構成をしており、紙面や、表示部21などに表示されたシンボルを、画像読取手段2で読み取ったり、コンピュータ装置1上の所定のシンボル作成ソフトで作成することなどにより、シンボル11、12を画情報として登録可能としている。

【0019】また、これらに対応して、ビジュアルベシク、Java、C++言語や、その他の市販されているようなオブジェクト指向プログラミングをすることで作成したマクロコマンド11'、12'を登録可能としており、編集されたプログラムはDLLファイルなどに組み込んで、コンピュータ装置で稼動しているOS上で作動するようにしてもよい。ここでは、マクロコマンド11'は表計算ソフト上で所定範囲のセル数値を合計するコマンド、マクロコマンド12'は表計算上の所定範囲のセル数値の平均値を求めるコマンドを示している。なお、マクロコマンド11'、12'には、通常の文字データや記号データを含ませることができるようになっており、記憶部13にOCRソフトを記憶させると

ともに、所定の文字、記号データを、任意のアプリケーションにハンドリングさせるようにしておけば、コンピュータ装置1がその文字、記号データを識別して、対応するアプリケーションに関連した処理が自動的に行える。なお、シンボルとしては、バーコードを登録することもでき、1次元コード13、2次元コード14を登録するとともに、これらに対応したマクロコマンド13'、14'を登録している。例えば、マクロコマンド11'、12'は、特定のサービスサーバの通信アドレスを少なくとも含んでいてもよく、表示画面に表示されたシンボル11、12を、画像読取手段2で読み取ったときには、その通信アドレスを通信ブラウザソフトにハンドリングさせておけば、コンピュータ1がその通信アドレスを識別したときに、通信ブラウザソフトを起動させて、特定のサービスサーバをアクセスすることができる。なお、ハンドリングの方法としては、通信アドレスの識別記号（例えば@）をOCRソフトによって識別したときに通信ブラウザソフトを起動させたり、シンボル11、12の外観に特徴を持たせ、その外観の画情報が入力されたときに通信ブラウザソフトを自動的に起動させて、ピンポイントで目的のホームページなどにアクセスさせるなどの方法が考えられる（インターネットアクセスへの利用）。

【0020】また、シンボル11、12としては、先述したように、1次元コード13や、2次元コード14などの多次元コードを使用することができ、この場合、これらのシンボル画像をそのままシンボルシンボルとして利用することが出来る。更に、2次元コード14などの多次元コードを使用する際は、それらに文字、記号データを格納させておけば、コンピュータ装置1でデコードソフトを用いることによって、格納された情報を文字、記号データにデコードして使用することもできる。

【0021】ここで、2次元コード14は、図4に示すような構成をしていることから、シンボル/コマンド登録テーブル14Aには、シンボルを図5に示すように登録することもできる。すなわち、2次元コード14は、図4に示すように、12（1～12行）×12（A～L列）のマス目によって構成される144個のセルから成るマトリクス上に、ドットを配して構成されている。

【0022】このコード14は、2次元読取領域gを特定するために、ドットを配列して構成されたX軸基線b（Xリファランスライン）及びY軸基線c（Yリファランスライン）をエリアマーキングとして備えており、更に、これらのX軸基線bとY軸基線cとによって特定された2次元読取領域gにおけるドットの2次座標位置（マトリクス上のセル位置）を特定するために、X軸基線bとY軸基線cの各々には、座標スケールが記されている。図例では、座標スケールは、ドットを等間隔で配して構成されたタイミングマークd、eを付記して構成され、これらによって、シンボルhが記される情報表示

面 a を画している。これらのエリアマーキング、タイミングマークは、コンピュータによる画像処理を容易にするため、シンボルマークの記された領域を示し、シンボルマークの記された紙面が伸び縮みしたり、歪んだり、欠落したような場合にも、正規化処理を行うなどしたときに、その 2 次元読取領域 g を正しく認識して、シンボルイメージの解読を容易にするために付加されている。

【0023】また、f は、エンドマーキングであり、読取領域の終点を示すため、X 軸基線 b と Y 軸基線 c の交点の対角位置などに記される。図例では、コード I 4 が、上下、左右に反転したり、表、裏逆になって、コンピュータ装置 1 に読み取られた場合にも、シンボル h の上下、左右を正しく認識できるようにするために、上下、左右が非対称となる 3 つのセルからなるコーナーマーク f を記している。

【0024】このような 2 次元コード I 4 は、読み取り時のエラーを軽減するために有益であり、の構成により、コンピュータ装置 1 は、先述したデコードソフトを用いれば、図 5 のシンボル h ~ h 3 のみを正確に識別して、それに応じたマクロコマンド h' ~ h 3' を実行することができる。なお、マクロコマンド h' は、特定の表計算用ソフトウェアを起動させるためのコマンド、マクロコマンド h 1' は、写真などの画像情報読み込み、編集管理する画像データベースソフトを起動させるためのコマンド、マクロコマンド h 2' は、病院などで使用される患者に対応して格納された X 線写真や CT 画像などを画面上に表示させて、診断を行うためのコマンド、マクロコマンド h 3' は、データベースに保管された患者情報を画面上に表示させて、診断や治療を行った際のデータを入力して、編集管理するような個人カルテ管理システムのコマンド及びコマンド群をそれぞれ示しているが、これらのコマンドは使用目的に応じて適宜プログラミングされ、所望のジョブあるいは、その一部を実行することが出来る。

【0025】次に、このような構成をなすショートカット処理システムの動作について、図 6 のフローチャートを用いて説明する。すなわち、画像読取手段 2 を操作して、シンボルとして、シンボル I 1, I 2 (図 1 参照) を読み取れば (100)、読み取ったシンボル I 1, I 2 は画情報としてコンピュータ装置 1 に送出されるので (101)、これを受けたコンピュータ装置 1 では、画像処理部 15 が、コンピュータ装置 1 で稼働している OS (例えば、マイクロソフト社の WINDOWS ウィンドウズ 98 (マイクロソフト社の登録商標) など) に対して割り込みを行い、受信したシンボル I 1, I 2 を識別して、画情報から画像上の特徴を抽出し (102)、シンボル/コマンド変換部 16 が、この画像上の特徴から、対応するマクロコマンド I 1', I 2' をマクロコマンド登録テーブル 14 A より読み出し (103)、読み出されたマクロコマンド I 1', I 2' を信号処理部 10

が実行する (104)。

【0026】図 7 は、先述したシンボルを紙面上に表示した例を示している。紙面 S はコマンドシートとしての役割を果たしており、シンボル I 5 ~ I 7 が印刷されている。シンボル I 5 は、ワードなどの文書作成ソフトを起動するためのシンボルであり、画像読取手段 2 で読み取れば、コンピュータ装置 1 で文書作成ソフトが起動される。シンボル I 6 は、エクセルなどの表計算ソフトを起動するためのシンボルであり、画像読取手段 2 で読み取れば、コンピュータ装置 1 で表計算ソフトが起動される。

【0027】シンボル I 7 は、予めコンピュータ装置 1 で起動している辞書検索ソフトに対して、シンボル I 7 を読み取る前に識別した文字データの検索を促すためのシンボルである。すなわち、紙面や、表示画面上に表示された文字を、画像読取手段 2 の特定操作によって読み取れば、コンピュータ装置 1 で辞書検索ソフトが起動され、その後、シンボル I 7 を読み取れば、コンピュータ装置 1 の OCR ソフトによって、画像データとして読み取った文字が文字データに変換され、その文字データを基にして、辞書検索ソフトから該当する意味を検索する。ここで、コンピュータ装置 1 では、マクロコマンド登録テーブル 14 A のマクロコマンド I 1', I 2' の内容を編集することができる。紙面や、表示画面上に表示されたシンボル I 1, I 2 (図 1 参照) を、画像読取手段 2 の特定操作によって読み取れば、コンピュータ装置 1 に読み取られたシンボル I 1 ~ I 2 が画情報として送出されるので、これを受けたコンピュータ装置 1 では、マクロコマンド編集部 16 が、表示部 11 に例えば図 8 に示すようなマクロコマンド編集画面を開いて表示する。

【0028】このマクロコマンド編集画面には、読み取られたシンボル、例えばシンボル I 1 が表示されるとともに、そのシンボル I 1 に対応するマクロコマンド I 1' がマクロコマンド表示欄 11 A に表示されており、表示欄 11 A のマクロコマンド I 1' の内容をキーボードなどの操作によって編集できるようになっており、表示欄 11 A の内容でよければ OK ボタン 11 B を操作し、編集作業を中止し、元の内容で良い場合にはキャンセルボタン 11 C を操作するようにしている。

【0029】このようなマクロコマンドは、汎用コンピュータだけでなく、医療用装置、オペレータの操作の複雑な管理装置、特定分野の多機能データベース装置などに種々の態様、応答的利用が可能である。

【0030】

【発明の効果】以上の説明からも理解できるように、本発明の請求項 1 に記載のコンピュータ装置の操作処理方法では、画像読取手段を操作してシンボルを読み取るだけで、コンピュータに所望のジョブを所定の処理を実行させることができるので、アプリケーションを起動させ

るためだけに表示画面上に表示される従来のショートカットとは異なり、ユーザーにとって非常に使い勝手がよい。

【0031】請求項2に記載のコンピュータ装置の操作方法では、表示画面上に表示されたシンボルを、画像読取手段で特定の操作をすれば、それに対応して登録したマクロコマンドなどの情報を表示画面上で開いて、編集可能にしているので、自動的にシンボルに対応するマクロコマンドの内容が編集可能となり、ユーザーが任意にマクロコマンドの内容をカスタマイズすることができる。

【0032】請求項3に記載のコンピュータ装置の操作方法では、マクロコマンドは、特定のサービスサーバの通信アドレスを少なくとも含んでおり、表示画面上に表示されたシンボルを、画像読取手段を使用してコンピュータ装置に読み取ったときには、その通信アドレスをコンピュータ装置側で通信ブラウザソフトにハンドリングさせて、特定のサービスサーバをアクセスするので、シンボルを画像読取手段で読み取れば、コンピュータ装置では、通信ブラウザソフトを起動させて、シンボルに含まれる通信アドレスのサービスサーバにピンポイントでアクセスすることができる。

【0033】請求項4に記載のコンピュータ装置の操作方法では、コンピュータ装置に登録されるシンボルは、バーコード、2次元コード、多次元コードであるので、これらのコードに所定の文字、記号データを格納させることもでき、たとえば、その場合、そのコードの情報も有効に利用でき、コンピュータ装置がコードを画情報から文字、記号データにデコードして使用することができる。

【0034】請求項5に記載のコンピュータ装置の操作方法では、2次元コードを、エリアマーキングと、座標スケールとによって、特定された情報表示面に記しているので、シンボルを簡単かつ正確に識別することができる。また、2次元コードを記しているマニュアルやカタログが伸び縮んだり、汚れたりした場合にもコンピュータ側での解読処理も容易かつ、正確に行える。

【0035】請求項6に記載のコンピュータ装置の操作方法では、2次元コードは、終点を特定するエンドマーキングを設けているので、2次元コードが、上下、左右などが異なる方向になったり、コードの全体が変形したり、表、裏面が逆になっても、シンボルを正しく識別でき、読取エラーを少なくすることができる。

【0036】請求項7に記載のショートカット処理システムでは、画像読取手段と、シンボル／コマンド登録テーブルを含んだシンボル登録手段と、読み取ったシンボルの画情報から画像上の特徴を抽出する画像処理部と、抽出した画像上の特徴から、シンボルに対応して登録したマクロコマンドを読み出すためのシンボル／コマンド変換手段とを備えたコンピュータ装置で構成しているの

で、上記した本発明方法を容易に実施することができる。

【0037】請求項8に記載のショートカット処理システムでは、コンピュータ装置は、シンボル／コマンド登録テーブルに登録されたマクロコマンドを、表示画面上に表示されたシンボルを、画像読取手段で特定の操作をすることによって表示画面上に表示して、表示されたマクロコマンドの一部を編集するマクロコマンド編集手段を備えているので、上記した請求項2の効果を発揮するシステムを提供することができる。

【0038】請求項9に記載のショートカット処理システムでは、画像読取手段は、読み取った画像データをコンピュータ装置にワイヤレスで送出し、コンピュータは、画像読取手段よりワイヤレスで送出された画像データを受信する構成としているので、画像読取手段とコンピュータ装置とをケーブルなどで有線接続する必要がなく、コンピュータにワイヤレス信号の届く範囲であれば、どこからでも、画像読取手段でシンボルの読取を行うことができ、便利である。

【0039】請求項10に記載のショートカット処理システムでは、画像読取手段は、読み取った画像データを、静止画データあるいは動画データとして保存できる機能を有するので、画像読取手段をデジタルカメラとして使用することができ、有益である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のショートカット処理システムの要部構成の一例を示す図である。

【図2】画像読取手段の内部構成の一例を示す図である。

【図3】アドレス／コマンド登録テーブルの構成の一例を示す図である。

【図4】2次元コードの構成の一例を示す図である。

【図5】アドレス／コマンド登録テーブルの構成の他例を示す図である。

【図6】ショートカット処理システムの基本動作について説明するためのフローチャートである。

【図7】シンボルを紙面上に表示した一例を示す図である。

【図8】マクロコマンド編集画面の一例を示す図である。

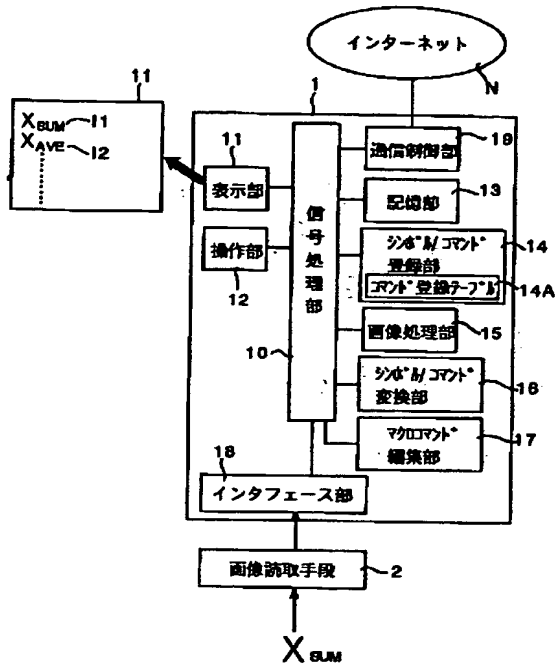
【符号の説明】

- 1・・・コンピュータ装置
- 2・・・画像読取手段
- 11・・・表示部
- 14・・・シンボル／コマンド登録部
- 14A・・・シンボル／コマンド登録テーブル
- 15・・・画像処理部
- 16・・・シンボル／コマンド変換部
- 17・・・シンボル／コマンド編集部
- 11～17, h～h3・・・シンボル

I 1' ~ I 4', h' ~ h 3' . . . マクロコマンド

S . . . 紙面

【図1】



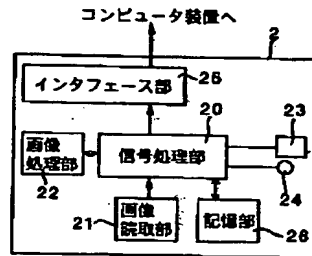
【図3】

シンボル	マクロコマンド
X_{SUM}^{I1}	$XXXXO\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta^{I1'}$ $\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta$ $XXXXXOO$
X_{AVE}^{I2}	$XXXX\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta^{I2'}$ $O\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta$ $XXXXXOO$
I^{I3}	$XXXX\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta^{I3'}$ $O\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta$ $XXXXXXX$
I^{I4}	$XOX\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta^{I4'}$ $O\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta$ $O\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta$
⋮	⋮

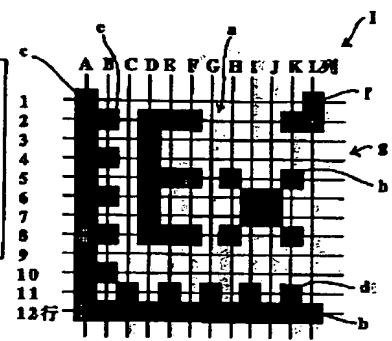
【図5】

シンボル	制御コマンド
E_x^h	$XXXXXO\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta^{h'}$ $XXXXX\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta^{h'}$ $XXXXX\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta^{h'}$
h_1^{h1}	$O\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta^{h1'}$ $XXXXX\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta^{h1'}$ $XXXXX\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta^{h1'}$
h_2^{h2}	$XXXXXXX\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta^{h2'}$ $XXXXXXX\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta^{h2'}$ $XXXXXXX\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta^{h2'}$
h_3^{h3}	$XXO\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta^{h3'}$ $XXO\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta^{h3'}$ $X\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta\Delta^{h3'}$
⋮	⋮

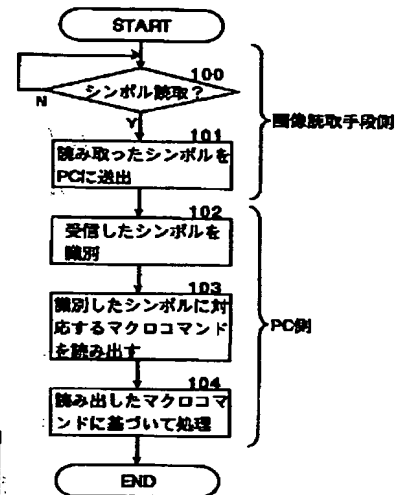
【図2】



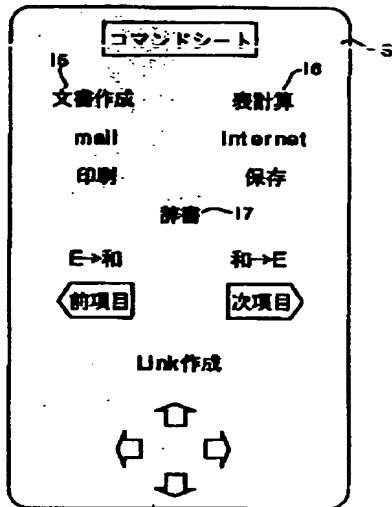
【図4】



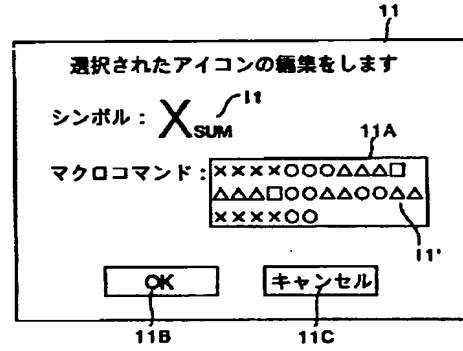
【図6】



【図7】



【図8】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

☐ BLACK BORDERS

☒ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES

☐ FADED TEXT OR DRAWING

☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING

☐ SKEWED/SLANTED IMAGES

☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS

☐ GRAY SCALE DOCUMENTS

☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT

☒ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY

☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.

This Page Blank (uspc)